

月報

神戸市感染症情報

＜特集＞ 感染症の予防及び感染症の患者に対する
医療に関する法律(感染症法)の一部改正
病原体検出状況報告(3月分集計)

19巻4号 (No. 210)

2016年4月発行

神戸市感染症情報対策委員会

事務局 神戸市保健所予防衛生課

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

Tel:078(322)6789 Fax:078(322)6763

＜特集＞

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)の一部改正

1. 感染症法改正の趣旨

デング熱など昨今の感染症の発生状況、国際交流の進展、保健医療を取り巻く環境の変化等を踏まえ、感染症に対応する体制を一層強化するため、患者等からの検体の採取に関する規定などが感染症法に明記され、平成28年4月1日に施行された。

2. 感染症法の主な改正点

(1)検体採取・提出等の明文化

法改正前まで、病原体の検査に必要な検体等は医療機関等の協力のもと自治体に提出され検査が実施されていたが、法令上は明文化されておらず一定の基準もなかった。そのため、病原体情報の収集・分析については自治体ごとに大きな差がみられ、必ずしも国全体の感染症の発生動向を正確に把握したものではなかった。

そこで、この度の法改正により、自治体が検体を所持している者等に対してその検体を提供させる権限が付与された。さらに、国民の健康に重大な影響を及ぼす感染症の蔓延防止の観点から、一類感染症・二類感染症・新型インフルエンザ・新感染症については、検体を所持している者等が検体の提出に応じない場合には自治体が強制的に検体を採取する措置(収去等)が取

れることも規定された。

(2)指定提出機関制度の創設

省令で定める五類感染症については、検体等を提出してもらう医療機関または衛生検査所を指定するとともに、これら指定提出機関からの検体の提出を義務付けた。現在、季節性インフルエンザが省令で定める五類感染症に指定されており、指定提出機関は流行期(※)は毎週、非流行期は毎月、1検体以上提出することとなっている。その目的は、ウイルスの分離及び遺伝子情報等を収集・解析し、病原体の性状の変化の把握、薬剤耐性株の発生状況の把握、ワクチン株選定のための評価、新たな感染症との比較調査することである。

※ 定点あたりの患者発生数が1を超えた時点から1を下回るまでの間

(3)検査の信頼性確保制度の導入

医療機関等から提出された検体等は精度よく検査を行う必要があるため、地方衛生研究所または保健所等の検査施設における検査の業務管理について細則を定め、検査の信頼性を確保することも明文化された。これにより、自治体の検査施設においては、①必要な検査室の確保・維持管理、②検査部門及び検査部門と独立した

信頼性確保部門の設置、③機械器具保守点検・試薬・検体取扱い・検査等の各種標準作業書の作成、④各種文書の記録と保存、⑤精度管理試験、内部監査の実施、⑥教育訓練、研修 など検査の実施体制の確保が義務付けされた。

3. 感染症発生動向調査事業実施要綱の改正

感染症法の改正に伴い、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱も改正され、神戸市においては新たに神戸市感染症発生動向調査事業実施要領を策定し、4月1日から施行している。

本事業は、わが国の感染症の発生状況を把握し、まん延を防止する上で要となる調査であり、神戸市感染症情報のデータも本事業によるものである。この調査は、全国的に一定の基準のもと実施される必要があることから、法改正の趣旨を踏まえて本事業実施要綱も改正されたものである。

主な改正点は、

- ① 都道府県は、検体の指定提出機関として、病原体定点を選定すること(神戸市の場合、市の推薦に基づき兵庫県が指定)
- ② 検査施設は地方衛生研究所又は保健所等の検査施設とし、検査施設においては病原体等検査の業務管理要領に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めること
- ③ 検体等を所持している医療機関等は、保健所等から検体の提出の依頼又は命令を受けた場合には提供すること
- ④ 季節性インフルエンザについては、流行期は毎週、非流行期は毎月、1検体以上提出すること
- ⑤ RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血

性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発疹・百日咳・ヘルパンギーナ・流行性耳下腺炎のうち、患者発生状況を踏まえ自治体があらかじめ選定した感染症については、月に4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を提出すること

等となっている。

4. 神戸市の対応

改正感染症法の円滑な執行のためには、神戸市医師会をはじめ関係団体や各医療機関等の協力が欠かせないため、神戸市では厚生労働省から発出される通知を関係機関に適時送付するとともに、必要に応じて感染症法及び感染症発生動向調査事業の改正内容について個別訪問し説明させていただいたところである。

また、検査の信頼性を確保するため、神戸市環境保健研究所においては業務管理要領や検査標準作業書等を策定し、信頼性確保試験等を実施し、適正な検査業務の確保に努めているところである。

市民の健康をまもり、わが国の感染症対策の強化のためには、法改正の趣旨を踏まえ、患者の皆さん、医療機関の皆さん、行政がそれぞれの役割を果たすことが大切です。これからも引き続き、関係者の皆さんのご協力をお願い致します。

神戸市環境保健研究所感染症部

都倉亮道

病原体検出状況報告（病院検査室定点）平成28年

2016/4/12現在

便（細菌）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Campylobacter jejuni</i>	34	33	31	98
<i>Campylobacter jejuni/coli</i>	9	1	4	14
<i>Escherichia coli</i> , その他	3	2	0	5
<i>Salmonella</i> O4	0	2	3	5
<i>Salmonella</i> O7	1	0	0	1
<i>Salmonella</i> 群不明	1	0	0	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	19	13	26	58
陽性数	67	51	64	182
検査件数	619	550	577	1746

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
norovirus 群不明	8	7	5	20
rotavirus	0	4	7	11
陽性数	8	11	12	40
検査件数	147	117	83	347

便（原虫）

原虫名	1月	2月	3月	合計
<i>Entamoeba histolytica</i>	2	0	0	2
陽性数	2	0	0	2
検査件数	4	0	1	5

穿刺液（胸水、腹水、関節液など）

菌種名	1月	2月	3月	合計
Anaerobes	4	3	15	22
<i>Escherichia coli</i>	10	6	11	27
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	5	3	4	12
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	2	0	4
<i>Staphylococcus aureus</i>	7	17	7	31
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	3	2	2	7
陽性数	31	33	39	103
検査件数	246	318	275	839

髄液

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Escherichia coli</i>	0	1	1	2
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	0	0	2	2
陽性数	0	1	3	4
検査件数	65	96	77	238

咽頭および鼻咽頭からの材料

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	84	85	79	248
<i>Neisseria meningitidis</i>	0	2	0	2
<i>Streptococcus A</i>	8	7	7	22
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	48	41	45	134
陽性数	140	135	131	406
検査件数	1185	1421	1269	3875

尿

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Acinetobacter</i> spp.	1	1	4	6
<i>Candida albicans</i>	24	29	26	79
<i>Enterobacter</i> spp.	21	20	20	61
<i>Enterococcus</i> spp.	128	152	150	430
<i>Escherichia coli</i>	315	295	302	912
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	57	49	55	161
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	49	45	56	150
<i>Staphylococcus aureus</i>	42	50	40	132
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	52	41	56	149
陽性数	689	682	709	2080
検査件数	1344	1496	1486	4326

血液

菌種名	1月	2月	3月	合計
Anaerobes	8	13	13	34
<i>Escherichia coli</i>	96	94	67	257
<i>Haemophilus influenzae</i>	0	0	1	1
<i>Listeria monocytogenes</i>	2	1	0	3
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	8	12	8	28
<i>Staphylococcus aureus</i>	40	30	46	116
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	75	64	67	206
<i>Streptococcus B</i>	0	2	2	4
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	5	3	16	24
陽性数	234	219	220	673
検査件数	3515	3548	3454	10517

喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	57	58	56	171
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	77	68	64	209
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	2	4	1	7
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	96	105	106	307
<i>Staphylococcus aureus</i>	169	201	210	580
<i>Streptococcus A</i>	7	3	2	12
<i>Streptococcus B</i>	10	16	8	34
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	26	45	46	117
陽性数	444	500	493	1437
検査件数	1784	1796	1598	5178

尿道または子宮頸管擦過（分泌物）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Candida albicans</i>	35	46	41	122
<i>Chlamydia trachomatis</i>	3	2	1	6
<i>Streptococcus B</i>	26	26	22	74
<i>Trichomonas vaginalis</i>	1	0	0	1
陽性数	65	74	64	203
検査件数	391	374	397	1162

検出された *S. aureus* の内訳

	菌種名	1月	2月	3月	合計
便	MRSA	11	8	20	39
	MSSA	8	5	6	19
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	19	13	26	58
	<i>S. aureus</i>	19	13	26	58
穿刺	MRSA	4	4	1	9
	MSSA	3	13	6	22
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	7	17	7	31
	<i>S. aureus</i>	7	17	7	31
髄液	MRSA	0	0	0	0
	MSSA	0	0	0	0
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0
	<i>S. aureus</i>	0	0	0	0
尿	MRSA	26	23	18	67
	MSSA	16	27	22	65
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	42	50	40	132
	<i>S. aureus</i>	42	50	40	132
血液	MRSA	11	13	18	42
	MSSA	27	17	28	72
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	38	30	46	114
	<i>S. aureus</i>	40	30	46	116
喀痰	MRSA	89	117	128	334
	MSSA	80	84	82	246
	メチシリン未検査	0	0	0	0
	合計	169	201	210	580
	<i>S. aureus</i>	169	201	210	580
合計	MRSA	141	165	185	491
	MSSA	134	146	144	424
	メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	275	311	329	915	

病原体検出状況報告（検診機関）平成28年

便（細菌）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Escherichia coli</i> , EHEC/STEC	1	0	0	1
<i>Salmonella</i> O4	0	0	1	1
<i>Salmonella</i> O8	0	0	1	1
陽性数	1	0	2	3
検査件数	5423	5147	5025	15595

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
検査件数	60	43	42	145

病原体検出状況報告

2016/4/20現在

ウイルス分離・検出状況(定点)

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
A型インフルエンザ(H1pdm09亜型)	10	5	4	19
A型インフルエンザ(H3亜型)	2			2
B型インフルエンザ(山形系統)		6	4	10
B型インフルエンザ(ビクトリア系統)	1			1
アデノ1型		1		1
アデノ2型	1	2		3
アデノ4型	1			1
陽性検体数	15	14	8	37
検体数	16	27	14	57

下痢原因菌検出状況

菌種名	検査室	1月	2月	3月	小計	合計
<i>Campylobacter jejuni</i>	環保研			1	1	11
	中央市病	2	4	4	10	
<i>Clostridium perfringens</i>	環保研			5	5	5
	中央市病				0	
<i>Salmonella</i> O4	環保研				0	1
	中央市病		1		1	
<i>Staphylococcus aureus</i>	環保研	2		3	5	5
	中央市病				0	
<i>Yersinia enterocolitica</i>	環保研				0	1
	中央市病		1		1	
検出菌総数	環保研	2	0	9	11	23
	中央市病	2	6	4	12	
検査検体数	環保研	16	2	26	44	193
	中央市病	58	51	40	149	

環保研 : 神戸市環境保健研究所(食中毒関連検査等)

中央市病: 神戸市中央市民病院(外来患者検査等)

A群溶連菌(定点)

T型別	1月	2月	3月	合計
1				0
2				0
3				0
4				0
6				0
8				0
9				0
11				0
12				0
13				0
18				0
22				0
23				0
25				0
28				0
5/27/44				0
14/49				0
B3264				0
imp.19				0
UT				0
陽性数	0	0	0	0
<i>H.influenzae</i>				0
検査検体数	0	0	0	0

STD定点

	1月	2月	3月	合計	
淋菌	耐性菌(PCG)			0	
	耐性菌(LVFX)			0	
	低感受性菌(CFIX)			0	
	陽性数	0			0
検査検体数	1	0	0	1	
<i>Chlamydia trachomatis</i>	陽性数	0			0
	検査検体数	1	0	0	1
<i>U.urealyticum</i>	陽性数	1			1
	検査検体数	1	0	0	1

百日咳(定点)

	1月	2月	3月	合計
陽性数(培養法)	0	0	1	1
陽性数(LAMP法)	0	0	1	1
検査検体数	1	1	2	4

神戸市感染症発生動向調査月報

2016年3月受診の患者数報告

総報告定点数 12ヶ所
総設置定点数 12ヶ所

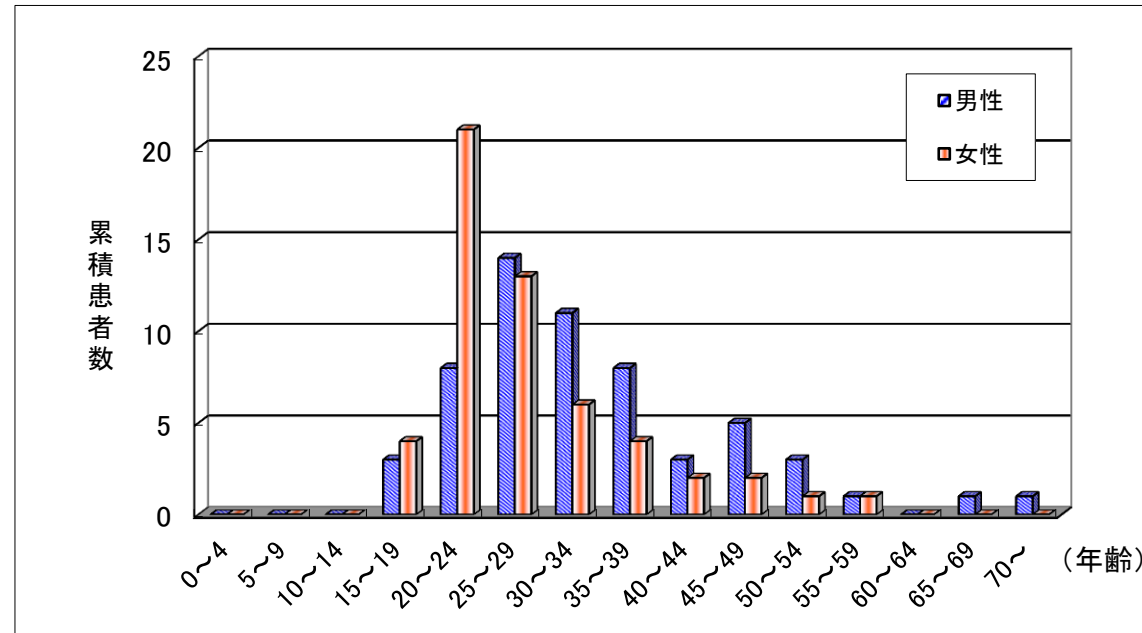
神戸市感染症情報センター

STD定点情報（3月患者）		患者年齢層															
病名	性	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~	合計
性器クラミジア感染症	男					2	2	1		1	1	2					9
	女					5	5	1	2			1					14
性器ヘルペスウイルス感染症	男						2		1								3
	女					2		3			1	1					7
尖圭コンジローマ	男						1		1								2
	女					1											1
淋菌感染症	男						1										1
	女					1											1

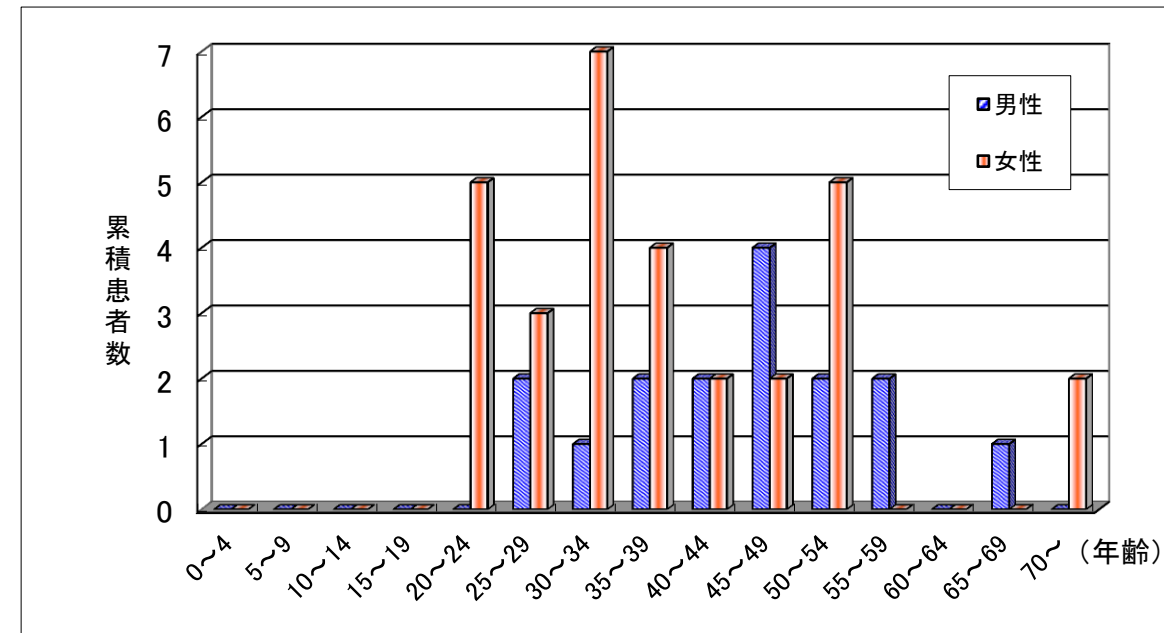
<その他の感染症情報>

直近6か月間の累積患者報告数（2015年10月～2016年3月）

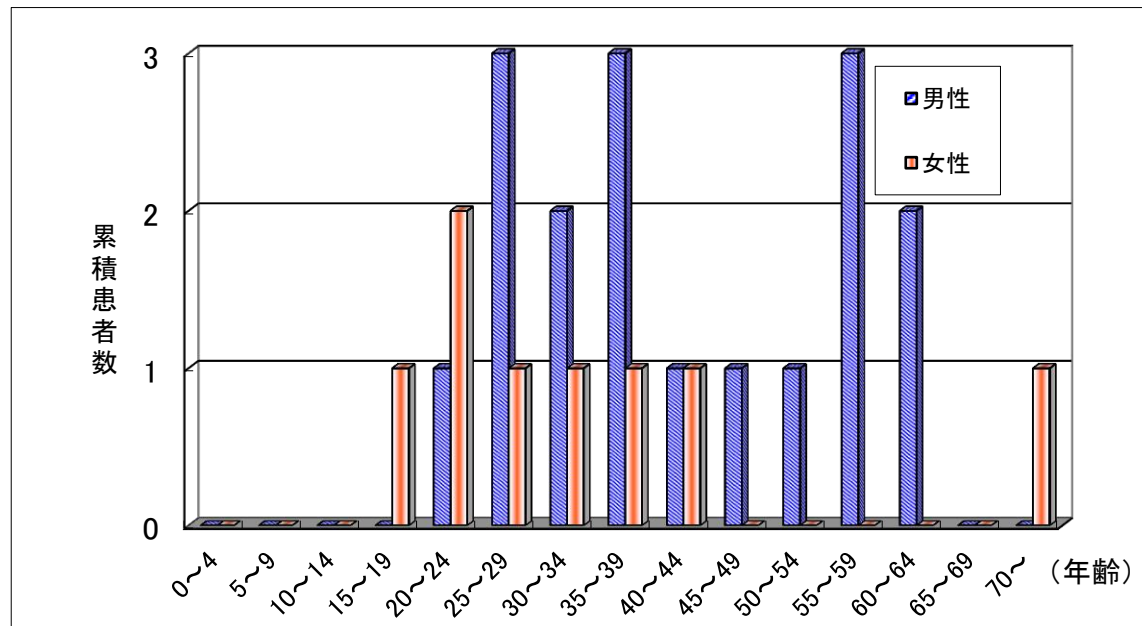
1. 性器クラミジア感染症



2. 性器ヘルペスウイルス感染症



3. 尖圭コンジローマ



4. 淋菌感染症

